
明日のキミへ ~彼らの想いの唄~

ともみつ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

明日のキミへ ～彼らの想いの唄～

【Nコード】

N3394F

【作者名】

ともみつ

【あらすじ】

月見里乙樹、姫柀夜々、杠葉朔、木名瀬瀬栖榎、名もなき男、ともみつによる、青春小説「明日のキミへ」から飛び出した人物たちによる思い思いを描いた新聞掲載の詩集です。今後の展開により、人物の描く詩は更新していきます。

それぞれの頃（前書き）

本文に詳細は描いているので、そちらをご覧くださいませ。

それぞれの唄

明日の君へ　　詩のしらべ

本作の詩は、平成二十年九月二十七日付、平成二十年十月十八日付 南日本新聞様へ掲載いただいた詩を掲載するものです。

現在、独自展開中の小説「明日の君へ」より登場人物による詩の投稿を開催しています。

小説「明日の君へ」で、今後の展開に利用するための企画として、現段階では大儀はありませんが、今度小説の展開により活用するつもりですので、南日本新聞様をご利用いただけない地域の方で、作品を閲覧されている方への対応とさせていただきます。掲載された時には、こちらへも更新することにします。

まずは第一弾　ともみつ　「明日のキミへ」です。

《明日のキミへ》

壊れやすくて

怯えていたキミ

大切すぎて

臆病になっていたキミ

良いんだよ

もつと帆を開いても

受け止めてくれる

風が君を押ししてくれるから

だから行こう

明日のキミに

出逢えるその先へ

第二弾 月見里乙樹 「僕の足」

《僕の足》
「

背中を追うことが好きだ

君の後ろを走ると安心する

けれど

僕の足は追いつけない

君は僕の前に行く

僕の足が二度と追いつけない

遙か彼方へ

僕の足は君にとって

何だったのだろう

遅くなりましたが、11月15日に詩が掲載されたので、更新します。

タイトル《きつと》

君は気づいてないよ

でもきつと気づけるよ

お母さんの大切さ

お父さんの大切さ

いつか気づけるよ

でもその時大切なのは

自分がどれだけ大切で

大切にされているか

そうして気づくんだよ

人は独りじゃないって

《姫終夜々》

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3394f/>

明日のキミへ ~ 彼らの想いの唄 ~

2010年10月10日14時35分発行